

## NEWS RELEASE

即時リリース用  
2022年7月1日

ジョージア日米協会  
404-842-1400 Yoshi@Jasgeorgia.org

### ジョージア州の日系コミュニティがカーター元大統領の「平和の鐘」の鐘楼を建築、7月8日に地鎮式、9月30日に完成へ

アトランタ - ジョージア日米協会とジョージア日本人商工会は、在アトランタ日本国総領事館および日本貿易振興機構(ジェトロ)アトランタの後援のもと、カーター・センターの敷地内にあるジミー・カーター元大統領の「平和の鐘」を吊り下げる日本の伝統的な鐘楼を建築いたします。この鐘楼は、日本とジョージア州の人々の友好のシンボルとなることが期待され、日本とジョージア州の関係深化に向けたカーター元大統領の貢献に対する認識を高めると同時に、日本とジョージア州の経済、文化、教育、政治面での結びつきの強さを示すものです。「平和の鐘」の鐘楼は、鐘がもともと置かれていた広島県三次市甲奴(旧甲奴町)の正願寺の鐘楼を模し、甲奴町の大工の指揮のもと施工されます。7月8日には地鎮式が執り行われ、テープカットとオープニングセレモニーは、カーター大統領の98歳の誕生日である10月1日の前日、2022年9月30日午後4時から行われる予定です。



第二次世界大戦中、全国に金属回収令が発令され、甲奴町の正願寺の梵鐘は呉海軍工廠に供給されました。この時、日本中の梵鐘の95%が失われたと言われていました。しかし、正願寺の梵鐘が弾丸になる前に終戦を迎え、戦後、この鐘は英国に渡り、英国人ジェームス・テイラー氏のもとに一時期保管されていました。1958年に父の遺品を整理していた息子のミロス・テラー氏がこの鐘を発見、1982年にこの梵鐘とともにフロリダ州イースト・オレンジ・パークに移住しました。1985年に英国に戻るようになったミロス氏はこの鐘を売りに出したところ、これを知ったジョージア日本人商工会と在アトランタ日本国総領事館は梵鐘を購入するための寄付を呼びかけました。1985年7月24日、カーター・センター建設と日本庭園着工を記念し、カーター元大統領の世界平和推進活動への感謝を込めて、日本人コミュニティを代表し、野々山忠致総領事と荒木博光ジョージア州日本商工会議所会長が、カーター元大統領夫妻にこの鐘を寄贈しました。

寄贈後にカーター・センターを訪問した秋山肇参議院議員(当時)は、鐘に正願寺の名前が刻まれていることを発見しました。1987年9月26日、秋山氏は元在アトランタ日本国総領事の奥則之氏とともに正願寺を訪れ、カーター元大統領に梵鐘が寄贈されていたことを報告しました。砲弾の資材として溶かされたと思っていた梵鐘が日米親善のシンボル「平和の鐘」としてカーター・センターで大切に保管されていることを知り、正願寺関係者は大変喜びました。

1990年10月21日、甲奴町長からの招待を受け、カーター元大統領は娘のエイミー氏とともに甲奴町を訪問しました。カーター元大統領の訪問中には、直筆メッセージを刻んだ記念碑の正願寺での除幕式が行われ、甲奴町の人々が作った「友愛の鐘」のレプリカを通じて、世界平和と相互交流への期待を表明しました。

翌年、甲奴町(現三次市)とジョージア州アメリカス市は姉妹都市提携を結びました。両市の訪問は今日まで毎年続けられています。カーター元大統領は甲奴の生徒たちに会う時間をとり、ジョージア州プレーンズ(Plains)の日曜学校にて彼らに教える時間をとってきました。また、甲奴町の人々は、アメリカス市からの代表団による訪問を受け入れてきました。

1994年、三次市はジミー・カーター・シビックセンターを建設しました。このセンターには、カーター元大統領の生涯、大統領としての功績やアトランタのカーターセンターの活動などを紹介する「ピース・ラーニング・センター」というギャラリーが併設されています。1994年7月7日、カーター元大統領夫妻はこの建物のオープニングセレモニーに出席しました。現在、甲奴のメインストリートはカーター通りと呼ばれ、カーター元大統領にちなんだ野球場やジョージア州プレーンズの家を模して建てられた4軒の家もあります。また、甲奴では多くの農家が「カーターピーナッツ」を栽培しており、毎年11月に「カーターピーナッツ祭り」が開催されています。

写真や動画のダウンロードは[こちら](#)から。

## プロジェクトスケジュール

**2021年2月5日:** ジョージア日米協会、ジョージア日本人商工会、在アトランタ日本国総領事館、日本貿易振興機構(JETRO)アトランタとのプロジェクトキックオフ会議

**2021年6月11日:** 広島県甲奴町とオンラインによる初対面

**2021年9月1日:** 伐採

世羅町西上原 高藤公昭氏の裏山より伐採しました。樹齢150年の立派なヒノキを提供していただきました。動画のリンクは[こちら](#)です。

**2021年12月上旬:** 木材の加工

小童の建設会社 近藤建設が日本の建築技法で木材の加工を行いました。動画のリンクは[こちら](#)です。

**2022年4月17日:** 広島県甲奴町に鐘楼が完成

動画リンクは[こちら](#)です。

**2022年4月26日~27日:** 木材の熱消毒

消毒処理を(株)佐々部材木店三良坂工場にて熱処理作業を実施してもらいました。

**2022年5月6日:鐘楼を梱包会社へ搬送。**

5月6日には、山陽海運(株)により(株)佐々部材木店三良坂工場から山陽海運(株)の倉庫(福山市引野町)まで運搬してもらいました。

**2022年5月12日:荷造り**

5月12日には、山陽海運(株)により、山陽海運(株)の倉庫(福山市引野町)から梱包専門業者(株)OSS福山工場(福山市箕沖町)まで運送してもらいました。

**2022年6月:出荷**

神戸通関での手続きやコンテナ積込み等、(株)ヤマト運輸が全て行います。6月4日に神戸港を出港しました。

**6月25日:アメリカ・ロサンゼルスに到着**

ロサンゼルスからアトランタまで陸送(鉄道とトラック)される予定です。

**2022年7月8日 10:00~:地鎮式**

カーター・センターでの起工式では、曹洞宗北アメリカ国際布教総監部(代表:国際布教総監秋葉玄吾)による伝統的な仏教儀式が行われます。

**2022年7月11日:コンクリート基礎の施工**

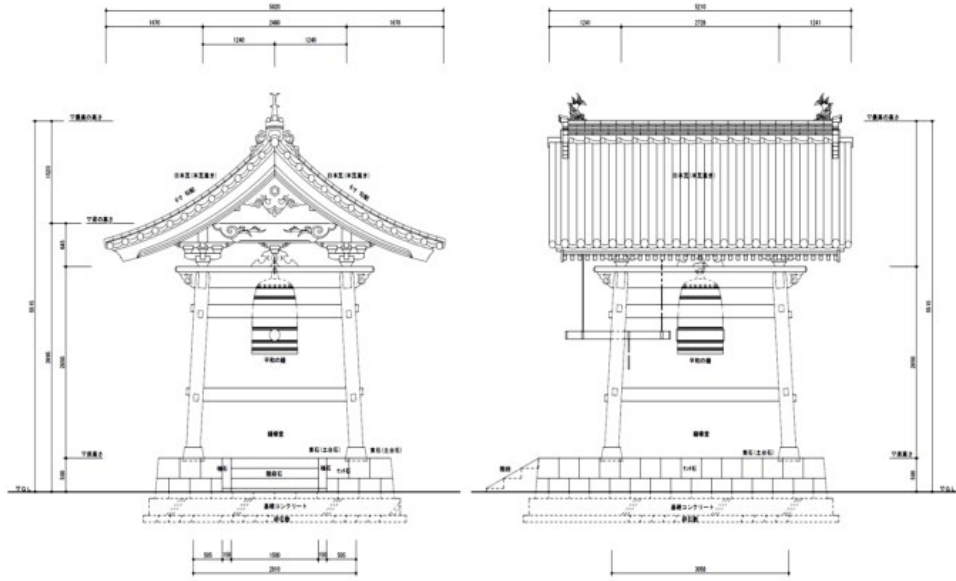
タワーのコンクリート基礎工事は、Mazza Landscape, Inc.がカーター・センターで開始する予定です。測量とプロジェクト計画は、Phillips Partnership と Atwell, LLC が提供しました。

**2022年8月2日~19日:甲奴町から大工をアトランタに派遣し、工事を監督する。**

近藤建設からは4名(大工:近藤順孝、小山大輔、タイル:平田仁彦、宮口愛士)がアトランタでの鐘楼工事を担当します。航空券はデルタ航空から提供されます。また、現地在住の日本人大工、川村仁司氏らの協力も得る予定です。

**2022年9月30日午後4時:カーター・センターでのオープニング・セレモニーとテープカット**  
関係者、地元関係者の出席のもと、曹洞宗日本本部による法要を兼ねた竣工式が行われる予定です。

プロジェクトの詳細は、[www.jasgeorgia.org/Georgia-Japan-Peace-Bell/](http://www.jasgeorgia.org/Georgia-Japan-Peace-Bell/) でご覧いただけます。



###